

○令和2度 教育事業

「 青少年スキルアップセミナー 」(R2.10.16 (金) ~18 (日))

10/16 (金)			11:00 受付	開 会 式	ガイ ダ ン ス	昼食	対象者理解 1.5h	休憩	青少年教育に おける体験活動 1.5h	休憩	自然体験 活動の 指導① 1h	夕食	自然体験活動の 指導② 2.5h	入浴等	就寝 準備
10/17 (土)	7:30 起床	8:30 朝食	9:00 活動 準備	自然体験活動の安全管理 3h			12:00 昼食	自然体験活動の技術① 4h			17:00 休憩	17:30 夕食	18:30 自然体験活動の 技術② 2h	20:30 入浴等	22:00 就寝 準備
10/18 (日)	7:30 起床	8:30 朝食	9:00 宿 舎 清 掃	自然体験活動の特質 3h			12:00 昼食	13:00 ガ イ ダ ン ス 5 h	13:30 試 験 1h	14:30 閉 会 式	15:00頃 解散				

◆目的 自然体験活動を安全で楽しい活動にするために必要な基礎的な知識・技術・考え方を身に付けることを目的とする。

◆参加実績 (定員 20 名)

参加 12 名 名施設職員 1 人 町教委 1 人 地域おこし協力隊 2 人 保育園 7 人 一般 1 名
(男 11 名 女 1 名)

◆プログラム (講師：北海道キャンプ協会 下川原清貴氏、坂谷 充氏
NEAL インストラクター 上ノ澤 友喜氏)

- ①さまざまなアクティビティ・・・(60分) 講師：下川原氏
アイスブレイクを体験するとともに、参加者同士の緊張をほぐし、より交流が生まれる雰囲気作りを行った。
- ②キャンプの特性 (講義)・・・(120分) 講師：下川原氏
いろんなキャンプがあり、それぞれの特性について学んだ。
- ③キャンプの安全 1 (講義)・・・(90分) 講師：坂谷 氏
危険予知など安全の考え方を学んだ。
- ④さまざまなアクティビティ (キャンプファイヤー)・・・(120分)
講師：下川原氏
トーチを作り、キャンプファイヤーを行い、指導者の動き等を学んだ。
- ⑤キャンプの安全 2 (講義)・・・(30分) 講師：坂谷 氏
ファーストエイドについて学び、どんな救急法があるかを学んだ。
- ⑥キャンプの生活技術 1・・・(180分) 講師：坂谷 氏
実践的なロープワークを学び、簡単なタープ作りに生かした。
- ⑦キャンプの生活技術 2・・・(60分) 講師：坂谷 氏
マキ割りをし、かまどを作り、火をおこした。湯沸しし好みのお茶を飲んだ。
- ⑧キャンプの対象 (講義)・・・(180分) 講師：下川原氏
いろんなキャンプの対象があり、それぞれについて学んだ。
- ⑨さまざまなアクティビティ・・・(120分) 講師：下川原氏
クラフト作りの1つとして「マイ箸作り」を行った。
- ⑩キャンプの指導 (講義)・・・(180分) 講師：下川原氏
キャンプにおいてどういう視点で指導をしてゆくの、実践的に学んだ。
- ⑪ガイダンス (講義)・・・(30分) 講師：上ノ澤氏
NEAL 分野においての今までの講義のまとめ



◆事業運営・企画のポイント

○NEAL とキャンプインストラクターの方で何回も打ち合わせをおこない、それぞれの内容に漏れのないように留意する。

○講師の必要な物品を漏れのないように揃える。(意図もしっかりくみ取り準備する)

◆参加者の声

□特に実技の部分でとても参考になった。

□講義や解説、実践すべてにわかりやすいプログラムでした。

□今後、自身と仲間とのキャンプを安全に楽しむために活用します。

□わかりやすく即使える内容だった。

□自然体験活動について知識を深めることができ良かった。色々な人と話をする中で、自分の価値観を考え直したり、改めたりする機会となり、よい経験になった。

◆成果と課題

①参加者自身も楽しみながら、安全に基礎的な知識・技術・考え方をスキルアップさせることができた。

②2つの資格取得ができることでタイトなスケジュールであったが、関連のある知識も多いため、効率よく実習や講義を行うことができ、結果、全員キャンプインストラクターの試験やニールの試験に合格することができた。

③新型コロナウイルスの影響で、実施の時期などがなかなか定まらない中だったが、事業広報前にもいくつか問い合わせがきていた。ニーズの高い事業だということを踏まえ、アウトドア関連団体やアウトドア系の道内大学等に早めに案内することで、より多くの参加が見込まれる。

◆事業運営費	合計	157,856 円
業務委託料	2名	140,000 円
通信運搬費		17,136 円
消耗品等		720 円

